

令和7年度

海陽町上水道施設遠隔監視システム整備工事（穴喰配水池）

海陽町

実 施 設 計 書

海 陽 町

仕 様 書

監 督 員 職 氏 名	上下水道課 北 山 導 典
現 場 代 理 人 職 氏 名	
主任(監理)技術者職氏名	

第一条 本工事は、徳島県土木工事共通仕様書により完成するものとする。

第二条 工事請負人は、工事着手前に監督員指示に従い次の規格による「標準断面図板」を作成し、現場の見易い場所に掲示しなければならない。

この図板は、竣工検査の終るまで存置すること。

「標準図板の規格」

- 大きさ 縦 0.7メートルから1.2メートルまで
横 0.5メートルから1.0メートルまで
- 標準図板の規格の縮尺 1／5から1／50まで
- 記入事項

年 度	令和7年度	事 業 主 体	海 陽 町
工 事 名	海陽町上水道施設遠隔監視システム整備工事(穴喰配水池)	施 工 者	
路線名等	海陽町	現場主任者	
工事箇所	穴喰配水池	工 期	着 手 令和 7 年 6 月 6 日
施行延長	L= m		完 成 令和 8 年 3 月 2 日

令和 7 年度
海陽町上水道施設
遠隔監視システム整備工事

特記仕様書

海陽町上下水道課

目 次

第 1 章 総則	-----	1
第 2 章 電気計装設備	-----	4

第1章 総 則

第1節 一般事項

第1項

本特記仕様書は、令和7年度 海陽町上水道施設遠隔監視システム整備工事に適用するものである。

第2項 関係法令の厳守

本施設の設計・施工にあたっては、以下に示す関係法令、基準及び企画を厳守しなければならない。

1. 水道方
2. 公害対策基本法
3. 水質汚濁防止法
4. 大気汚染防止法
5. 悪臭防止法
6. 騒音規制法
7. 振動規正法
8. 日本工業規格(JIS)
9. 日本水道協会規格(JWWA)
10. 電気規格調査会標準規格(JEC)
11. 日本電機工業会標準規格(JEM)
12. 日本電線工業会標準規格(JCS)
13. 電気用品取締法
14. 電気設備に関する技術基準を定める省令
15. 内線規定
16. 電力会社供給規定および同取扱細則
17. 建築基準法
18. 建築学会標準仕様書
19. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「各工事共通仕様書」
20. 土木学会コンクリート標準示法書
21. 労働安全法
22. 消防法
23. その他諸法令、基準等に関する諸条件

第3項 疑 義

設計図書の定める事項について疑義を生じた場合、および本工事施工の詳細については、本工事を担当する監督職員の指示に従わなければならない。

第4項 規格及び適用規格

1. 材料及び機器

使用材料および機器は、すべてそれぞれの用途に適合する欠点のない製品で、かつすべて新品とし、日本工業規格(JIS)、日本水道協会規格(JWWA)、電気規格調査会規格(JEC)、日本電機工業標準(JEM)、等の規格が定められているものは、これらの規格品を使用しなければならない。

2. 機器仕様の内容

本仕様書に適合しない箇所が発見された場合、本設備の性能等を下回らない限度に置いて、当局との協議により仕様変更できるものとする。

第5項 施 工

本工事施工に際しては、次の事項を遵守する。

1. 仮設工事等

請負者は工事中公衆に迷惑を及ぼす行為（公害の発生や付近の地権者との紛争を起こすような行為）のないよう十分措置を講じる。 工事中特に危険と思われ目箇所には防護柵を設け、また公道、構内道路が工事用車両で破損した場合は、当局に報告のうえ速やかに補修を行う。

資材置き場、資材搬入路、仮設事務所等は、計画書作成のうえ当局の承認を得る。

また、整理整頓を励行し、火災、盗難などの事故防止に努める。

2. 労務災害の防止

工事中の危険防止対策を十分に行い、また作業員への安全教育を徹底し、労務災害の発生がないようにつとめる。

3. 復 旧

他の設備、既存物件等の損傷、汚染防止に努め、万一損傷、汚染が生じた場合は請負者の負担で速やかに復旧する。

第6項 施 工

1. 工場検査

機器および付属品の検査は工場試験と現場試験に区別して行うものとする。工場試験は機器製作完了後、その製作工場において実施し、現場試験は全ての機器を現場に据付け、薬注設備及び計装機器等を含めた全設備を総合試運転し、各種の試験を行うものとする。なお各試験は原則として監督職員立会の上実施するものとする。

第7項 提出図書

本工事について請負人は、契約後速やかに担当技術者を派遣し、本仕様書及び図面に基づいて設計製作に関する詳細な打合せを行い、下記の関係図書を提出する事。

なお、部数、提出期限は別途打ち合わせにより決定する。

1. 承認図

- 1) 機器外形図、詳細図、結線図
 - 2) 機器据付図
 - 3) 配管詳細図
 - 4) 配線詳細図
 - 5) 機器撤去図
 - 6) その他発注者の指示するもの
2. 決定図
- 承諾図返却後
- 日以内

第8項 その他提出書類

1. 維持管理に必要な操作説明書
2. 各種機器試験成績書
3. 各種機器取扱説明書
4. 完成図（竣工図）
5. 工事写真
6. その他発注者の指示するもの

第2章 電気計装設備

第1節 概要

本設備は令和4年 海陽町上水道施設遠方監視システム設備工事に伴う電気計装設備の設置を行うものである。

第2節 機器構成

1. 突喰地区 突喰配水池 1 式

第3節 機器使用

2. 突喰地区 突喰配水池

(1) 取水井水位計

- | | | |
|-----------|---|--------|
| ①数 | 量 | 1 組 |
| ②型 | 式 | 投込式水位計 |
| ③精 | 度 | ±0.3 % |
| ④機 器 構 成 | | |
| ・検出器 | | 1 台 |
| ・変換器 | | 1 台 |
| ・その他必要なもの | | 1 式 |

(2) 配水流量計

- | | | |
|-----------------------|---|------------|
| ①数 | 量 | 1 組 |
| ②型 | 式 | 電磁流量計(水中型) |
| ③口 | 径 | φ 200 |
| ④フ ラ ン ジ 規 格 | | JWWA 7.5k |
| ⑤精 | 度 | ±0.5% |
| ⑥機 器 構 成 | | |
| ・流量計検出器 | | 1 台 |
| ・流量計変換器 | | 1 台 |
| 電源 AC100V、出力 DC4-20mA | | |
| ・専用ケーブル付 | | 1 式 |
| ・ルーズフランジ短管 | | 1 本 |
| ・その他必要なもの | | 1 式 |

(3) 既設配水池監視盤 機能増設

- | | | |
|----|---|-----|
| ①数 | 量 | 1 式 |
|----|---|-----|

②機能増設内容

(a) 穴喰配水池を本システムにて遠方監視する為、既設配水池監視盤内にクラウド監視用通信端末を設置する。

クラウド監視用通信端末は既設簡易水道と同じシステムにて監視可能なものとする。

(既設簡易水道クラウド監視用通信端末：FIC' S)

(b) 配水池水位計更新に伴い、水位計回路(指示計・アレスタ等)を更新する。

(c) 配水池水位計の警報設定器を取り付ける。

(d) 配水流量計更新に伴い、流量計回路(指示計・アレスタ等)を設置する。

(e) 信号点数 別途記載の『信号項目表』による。

上水道施設監視項目表									
施設名称 信号項目		穴喰地区							
		⑦ 松本 水源 地	⑧ 穴喰 配水 池	⑨ 古目 中継 ポン プ 場	⑩ お茶 屋の 谷配 水池	⑪ 竹ヶ 島配 水池	⑫ 那佐 配水 池		
アナログ監視	取水井水位	1							
	配水池水位		1		1	1	1		
	配水池水位(監視用)						1		
	受水槽水位			1					
	取水流量								
	流入流量								
	配水流量		1		1	1	1		
	送水流量	1		1					
	残留塩素濃度			1		1			
	電動吐出弁開度								
	受電電圧								
	受電力率								
	受電電力								
	受電電流								
	アナログ予備	2	2	1	2	1	1		
パルス監視	流入積算パルス	1	1	1	2	1	1		
	パルス予備	1	1	1	2	1	1		
デジタル監視	取水井低水位(水位計警報設定器)	1							
	取水井高水位(水位計警報設定器)	1							
	配水池低水位(電極)		1			1			
	配水池高水位(電極)		1			1			
	配水池低水位(水位計)				1		1		
	配水池高水位(水位計)				1		1		
	受水槽低水位(電極)			1					
	受水槽高水位(電極)			1					
	1号取水ポンプ 運転/停止								
	2号取水ポンプ 運転/停止								
	3号取水ポンプ 運転/停止								
	送水ポンプ 自動								
	1号送水ポンプ 運転/停止	1		1					
	2号送水ポンプ 運転/停止	1		1					
	1号送水ポンプ 故障	1		1					
	1号送水ポンプ 漏電								
	2号送水ポンプ 故障	1		1					
	2号送水ポンプ 漏電								
	電動吐出弁 全開								
	電動吐出弁 全閉								
	電動吐出弁 故障								
	電動吐出弁 漏電								
	電動吐出弁 過トルク								
	1号減菌機 運転/停止	1							
	2号減菌機 運転/停止	1							
	1号減菌機 故障	1							
	2号減菌機 故障	1							
	次亜貯槽 液位低	1							
	残留塩素濃度 高			1		1			
	残留塩素濃度 低			1		1			
	残留塩素計 サンプル水異常			1		1			
	発電機 運転	1							
	発電機 故障	1							
	単相回路 漏電								
	デジタル監視 予備	13	8	1	6	5	8		
点数	アナログ監視 合計	4	4	4	4	4	4		
	アナログ監視 (パルス) 合計	2	2	2	4	2	2		
	デジタル監視 合計	26	10	10	8	10	10		

算定方法による算定額明細書

費 目	種 目 別	施 設 別	工 種 別	単位	算定方法による算定額				備 考
					変 更 前		変 更 後		
					数 量	金 額	数 量	金 額	
本工事費	材料費			式					
	労務費			式					
	機器費			式					
	直接経費			式					
		機械経費		式					
		総合試運転費		式					
	仮設費			式					
	直接工事費			式					
	共通仮設費			式					
	純工事費			式					
	現場管理費			式					
	据付間接費			式					
		据付（技術者）間 接費		式					
		据付（機器）間接 費		式					
	間接工事費			式					
	据付工事原価			式					

算定方法による算定額明細書

[illegible]

諸 経 費 計 算 書

工 種	名 称	算 式	金 額	摘 要
1	材料費	別紙(工事設計書)より		
2	労務費	別紙(工事設計書)より		
3	機器費	別紙(工事設計書)より		
4	直接経費			
4-1	機械経費			
4-2	総合試運転費			
5	仮設費			
6	直接工事費			
7	共通仮設費			
8	純工事費			
9	現場管理費			
10	据付間接費			
10-1	据付（技術者）間接費			
10-2	据付（機器）間接費			

諸 経 費 計 算 書

工 種	名 称	算 式	金 額	摘 要
11	間接工事費			
12	据付工事原価			
13	設計技術費			
14	工事原価			
15	一般管理費			
16	工事価格			
17	消費税等相当額			
18	本 工 事 費			

穴喰配水池

工事設計書

1. 設計図面との対象番号

(1) 一般平面図

(2) 工種別構造図

2. 工事計画概要

令和 7/ 3 単価

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			備 考
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
機器費										
	配水池水位計	投込式	台	1.0						見積
	配水流量計	電磁式 φ200	台	1.0						見積
	既設配水池監視盤機能増設		台	1.0						見積
	小 計									
材料費										
	CEE/F(EM-CEE)電線	1.25mm2 5心	m	15.0						551
	CEE/F(EM-CEE)電線	1.25mm2 2心	m	20.0						551
	波付硬質ポリエチレン管	FEP 30mm	m	20.0						574
	厚鋼電線管	呼径G22mm L3.66m	本	7.0						570
	異種管接続材 H型FEP 30φ		個	6.0						建設物価 24/07 P578 積算資料 24/07 P693
	SUS製プラスチック 端子付	200×200×200	個	2.0						602
	液面制御機器 電極保持器	BF-5	個	1.0						873
	保護カバー		個	1.0						物価資料平均

令和 7/ 3 単価

[illegible]

令和 7/ 3 単価

[illegible]

第 1 号 代 価 表			バックホウ掘削積込			山積0.28m3(平積0.20)			100 m3 当 り BH排対型第2次基準 (円未満切捨)	
名 称	品 種 形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			備 考	
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額		
土木一般世話役		人								
普通作業員		人								
バックホウ運転 クローラ型	山積0.28m3平積0.20m3	時間							排出ガス対策型(2次) 第1号機械運転表	
諸 雑 費		式	1.0							
合 計		m3	100.0	当り						
単 価		m3	1.0	当り						

第 2 号 代 価 表		管路埋戻工(機械埋戻)			山積0.28m3(平積0.20)			100 m3 当り	
		BH排対型第2次基準			再生クラッシャー RC-40			(円未満切捨)	
名 称	品 種 形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
土木一般世話役		人							
普通作業員		人							
バックホウ運転 クローラ型	山積0.28m3平積0.20m3	時間							排出ガス対策型(2次) 第1号機械運転表
タンパ運転	60～80kg	日							第3号機械運転表
再生クラッシャー RC-40		m3	126.0						
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		m3	100.0	当り					
単 価		m3	1.0	当り					

第 3 号 代 価 表		管路埋戻工(機械埋戻)			山積0.28m3(平積0.20)			100 m3 当り	
		BH排対型第2次基準			砂(クッション用)			(円未満切捨)	
名 称	品 種 形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
土木一般世話役		人							
普通作業員		人							
バックホウ運転 クローラ型	山積0.28m3平積0.20m3	時間							排出ガス対策型(2次) 第1号機械運転表
タンパ運転	60～80kg	日							第3号機械運転表
砂	クッション用	m3	126.0						
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		m3	100.0	当り					
単 価		m3	1.0	当り					

第 4 号 代 価 表			土砂運搬費 (DT4t積)			L=13.0km以下			10 m3 当 り (円未満切捨)		
			DID区間なし 良好			バックホウ0.28m3 (0.20m3)					
名 称	品 種 形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			備 考		
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額			
ダンプトラック運転	4 t 積級	日							オンロード・ディーゼル 第2号機械運転表		
諸 雑 費		式	1.0								
合 計		m3	10.0	当り							
単 価		m3	1.0	当り							

第 1 号 機械運転表									
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3平積0.20m3 排出ガス対策型(2次) 1 時間 当り (円未満切捨)									
名 称	品 種 形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
運転手(特殊)		人							
軽油	1, 2 号	L							
バックホウ[クローラ型]	山積0.28m3(平積0.20)	時間							[標準型] 排出ガス対策型(2次) 02-9
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		時間	1.0	当り					
単 価		時間	1.0	当り					

第 2 号 機械運転表 ダンプトラック運転 4 t 積級 オノロト・ディーゼル 1 日 当 り (円未満切捨)									
名 称	品 種 形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
運転手（一般）		人							
軽油	1, 2 号	L							
ダンプトラック[オノロト・ディーゼル]	4t積級	供用							03-1
ダンプトラック（タイヤ損耗）	積載重量 4 t	供用							35
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		日	1.0	当り					
単 価		日	1.0	当り					

第 3 号 機械運転表 タンパ運転 60～80kg 1 日 当 り (円未満切捨)									
名 称	品 種 形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
特殊作業員		人							
ガソリン	レギュラー	L							
タンパ	60～80kg	供用							
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		日	1.0	当り					
単 価		日	1.0	当り					

施工代価一覽表

令和 7/ 3 単価

[illegible]

機械運転一覽表

令和 7/ 3 単価

[illegible]

目 次
宋喰配水池

1. 合計一覧-----	1-1
2. 人工集計表-----	2-1

[本工事]

3. 据付工集計表-----	3-1-1
4. 材料集計表-----	4-1
5. 材料内訳表-----	5-1-1
6. 拾い出し根拠表-----	6-1-1
7. 設備材料一覧表-----	7-1-1
8. 複合工拾い出し表-----	8-1-1

[撤去工事]

9. 据付工集計表-----	9-1-1
10. 材料集計表-----	10-1
11. 材料内訳表-----	11-1-1
12. 拾い出し根拠表-----	12-1-1

材 料 数 量			(*) 印は工量無	[穴喰配水池]
(1)	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 5 c	m	15
(2)	制御ケーブル	EM-CEE-S 1.25 sq- 2 c	m	20
(3)	制御ケーブル	専用ケーブル	m	12
(4)	電線管類	FEP 30 mm (埋込)	m	20
(5)	電線管類	GP屋外 22 mm (露出)	m	24
(6)	電線管類	異種管接続材 H型FEP 30 φ用	個	6 (*)
(7)	電線管類	ブルボックス (SUS-WP) 200*200*200	個	2
(8)	その他器具	電極保持器 5P	個	1
(9)	その他器具	保護カバー	個	1 (*)
(10)	その他器具	電極棒 SUS	m	5.00 (*)
(11)	複合工費	ケーブル埋設シート	m	15
(12)	複合工費	コア抜き 床 75 φ	箇所	1 (*)
(13)	複合工費	掘削	m3	3.168 (*)
(14)	複合工費	埋戻し	m3	1.440 (*)
(15)	複合工費	残土処理	m3	1.728 (*)
(16)	複合工費	山砂	m3	1.704 (*)
(17)	一般労務費	電 工 (据付)	人	8
(18)	技術労務費	技術者 (据付)	人	1
(19)	技術労務費	技術者 (単体調整)	人	1
(20)	技術労務費	試運転調整	式	1

機 器 数 量(撤去) 数量・単位は据付入力欄のものとします [実喰配水池]

数量・単位は据付入力欄のものとします [突喰配水池]

(1)	機 器	配水流量計	台	1
-------	-----	-------	---	---

配水流量計	台	1
-------	---	---

人 工 集 計 表

[穴喰配水池]

[illegible]

宋喰配水池（ 1/ 1）

据 付 工 集 計 表

[宋喰配水池]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
配水池水位計	投込式	台	1		0.25		0.89		1.3						
配水流量計	電磁式 φ200	台	1		0.62		0.95		0.39						
既設配水池監視盤 機能増設		式	1												
計（S-401）				0.87		1.84		1.69							

[突喰配水池]

電工量小計= 0.834

[突喰配水池]

電工量小計= 2.902

[完喰配水池]

Z- 1 / 2	電工量小計=1.280	技術者工量小計=0.33
----------	-------------	--------------

宍喰配水池（ 1/ 1）

拾い出し根拠表

[宍喰配水池]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
1	既設配水池監視盤	配水池水位計	EM-CEE-S 1.25 sq - 2 c	P&D	1.0	(1.0)
				RACK		
				CP	13.3	(5.9)+ 0.7 + 3.6 + 3.1
				FEP	4.3	1.2 + 2.1 + 0.5 + (0.5)
			FEP 30 mm	CP		
				露出		
2	既設配水池監視盤	配水池水位計		埋込	4.3	1.2 + 2.1 + 0.5 + (0.5)
				P&D		
				RACK		
				CP		
			GP屋外 22 mm	FEP		
				CP		
3	既設配水池監視盤	電極	EM-CEE 1.25 sq - 5 c	露出	13.3	(5.9)+ 0.7 + 3.6 + 3.1
				埋込		
				P&D	1.0	(1.0)
				RACK		
			FEP 30 mm	CP	9.2	(5.9)+ 0.7 + 2.4 + 0.2
				FEP	4.3	1.2 + 2.1 + 0.5 + (0.5)
4	既設配水池監視盤	電極		CP		
				FEP		
				RACK		
				P&D		
			GP屋外 22 mm	露出	9.2	(5.9)+ 0.7 + 2.4 + 0.2
				埋込		
5	既設配水池監視盤	配水流量計	専用ケーブル	露出		
				埋込		
				P&D	1.7	(1.0)+ 0.7
				RACK		
			FEP 30 mm	CP	9.8	1.2 + 8.6
				FEP		

宍喰配水池（ 1/ 1）

設 備 材 料 一 覧 表

[宍喰配水池]

N o	区 分	明 細 名	材 料 名	形 状	単 位	数 量
1		その他器具	電極保持器	5P	個	1
1		〃	保護カバー		個	1
1		〃	電極棒	SUS	m	5
2		電線管類	プルボックス (SUS-WP)	200*200*200	個	2
2		〃	異種管接続材	H型 FEP 30φ用	個	6
3		複合工費	コア抜き	床 75φ	箇所	1
4	複合工事 1-1	〃	掘削		m3	1.012
4	〃	〃	埋戻し		m3	0.460
4	〃	〃	山砂		m3	0.538
4	〃	〃	残土処理		m3	0.552
4	〃	〃	ケーブル 埋設シート		m	4.6
5	複合工事 1-2	〃	掘削		m3	2.156
5	〃	〃	埋戻し		m3	0.980
5	〃	〃	山砂		m3	1.166
5	〃	〃	残土処理		m3	1.176
5	〃	〃	ケーブル 埋設シート		m	9.8

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
配水流量計	電磁式 φ200	台	1	0.62*0.4 =0.24	0.24	0.95*0.4 =0.38	0.38								
計 (S-401)				# 0.24 --->		0.24 + 0.38									

#印は再使用しない撤去なので技術者を電 工に読み替える

[穴喰配水池]

$$C-1/2 \quad (K=0.4) \qquad \text{電工量小計} = 0.155$$

[穴喰配水池]

$C = 2 / 2 \text{ (K} = 0.4 \text{)}$ 電工量小計 = 0.631

(撤 去) 材 料 内 訳 表

[illegible]

穴喰配水池 (1/ 1)

拾い出し根拠表

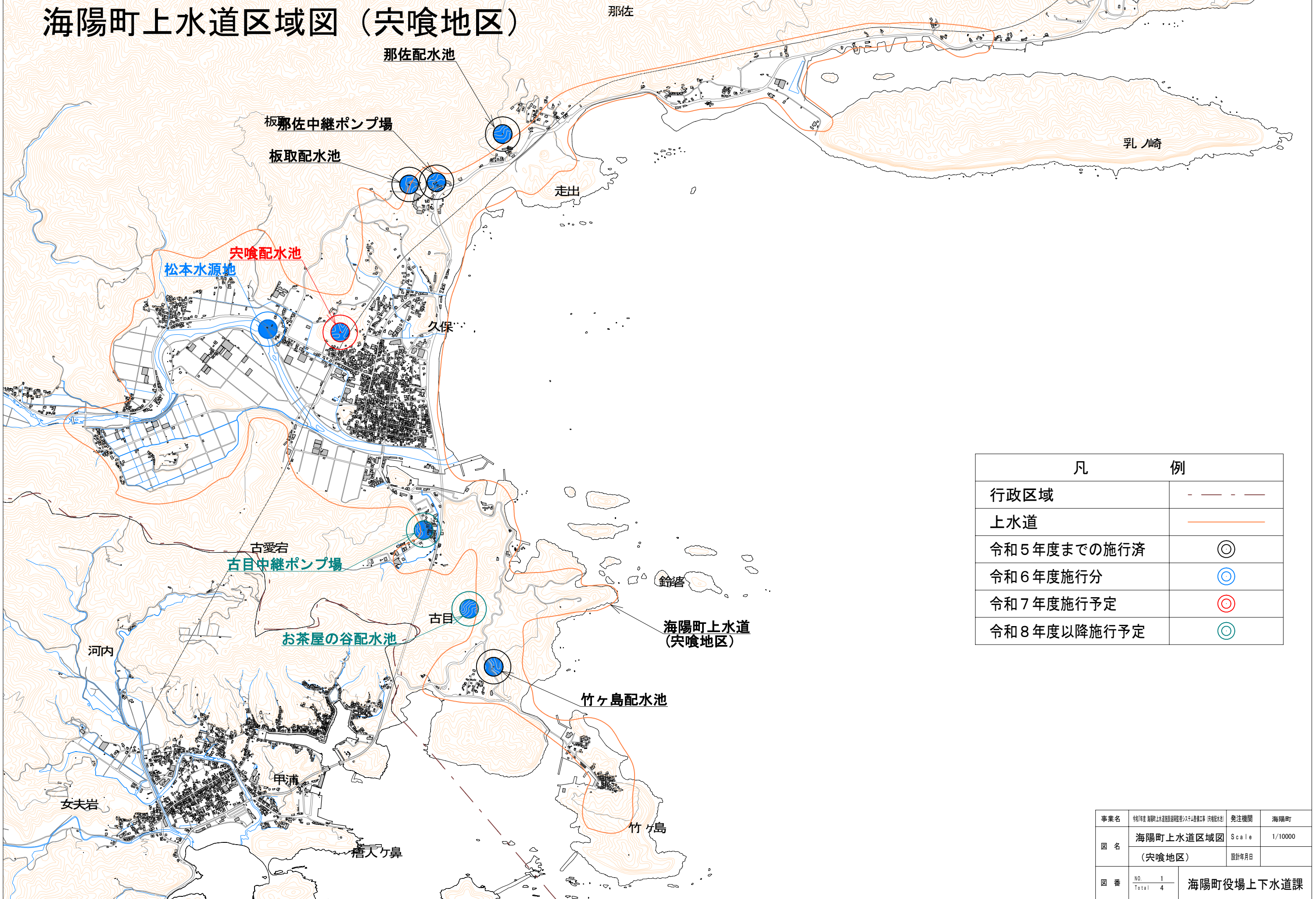
[穴喰配水池]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 6	既設配水池監視盤	配水池水位計	EM-CEE-S 1.25 sq - 2 c	P&D	1.0	(1.0)
				RACK		
				CP	11.9	(5.9)+ 0.7 + 2.2 + 3.1
				FEP	2.4	1.2 + 0.4 + 0.3 + (0.5)
				CP		
			FEP 30 mm	露出		
			埋込	2.4	1.2 + 0.4 + 0.3 + (0.5)	
R 7	既設配水池監視盤	配水池水位計		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			GP屋外 22 mm	露出	11.9	(5.9)+ 0.7 + 2.2 + 3.1
			埋込			
R 8	既設配水池監視盤	配水流量計	専用ケーブル	P&D	1.7	(1.0)+ 0.7
				RACK		
				CP		
				FEP	9.8	1.2 + 8.6
				CP		
			FEP 30 mm	露出		
			埋込	9.8	1.2 + 8.6	

複合工事 1-1	名称又は場所	宍喰配水池 既設配水池監視盤～配水流量計・電極	数量 (m)	4.6	項 目	計 算 式
L= 1.2+2.4+0.5+0.5					埋設物 断面積	$(0.04^2 \times 2)$ $\times 3.14 \div 4 = 0.003$
					掘 削	$0.5 \times 0.44 = 0.22$ $0.22 \times 4.6 = 1.012$ 1.012 m ³
					埋 戻 し	$0.5 \times 0.2 = 0.1$ $0.1 \times 4.6 = 0.46$ 0.460 m ³
					山 砂	$0.12 - 0.003 = 0.117$ $0.117 \times 4.6 = 0.538$ 0.538 m ³
					残土処分	$0.22 - 0.1 = 0.12$ $0.12 \times 4.6 = 0.552$ 0.552 m ³
					ケーブル 埋設シート	 4.6 m

複合工事 1-2	名称又は場所	穴喰配水池 既設配水池監視盤～配水流量計	数量 (m)	9.8	項 目	計 算 式
L= 1.2+8.6					埋設物 断面積	$(0.04^2 \times 1)$ $\times 3.14 \div 4 = 0.001$
					掘 削	$0.5 \times 0.44 = 0.22$ $0.22 \times 9.8 = 2.156$ 2.156 m ³
					埋 戻 し	$0.5 \times 0.2 = 0.1$ $0.1 \times 9.8 = 0.98$ 0.980 m ³
					山 砂	$0.12 - 0.001 = 0.119$ $0.119 \times 9.8 = 1.166$ 1.166 m ³
					残土処分	$0.22 - 0.1 = 0.12$ $0.12 \times 9.8 = 1.176$ 1.176 m ³
					ケーブル 埋設シート	 9.8 m

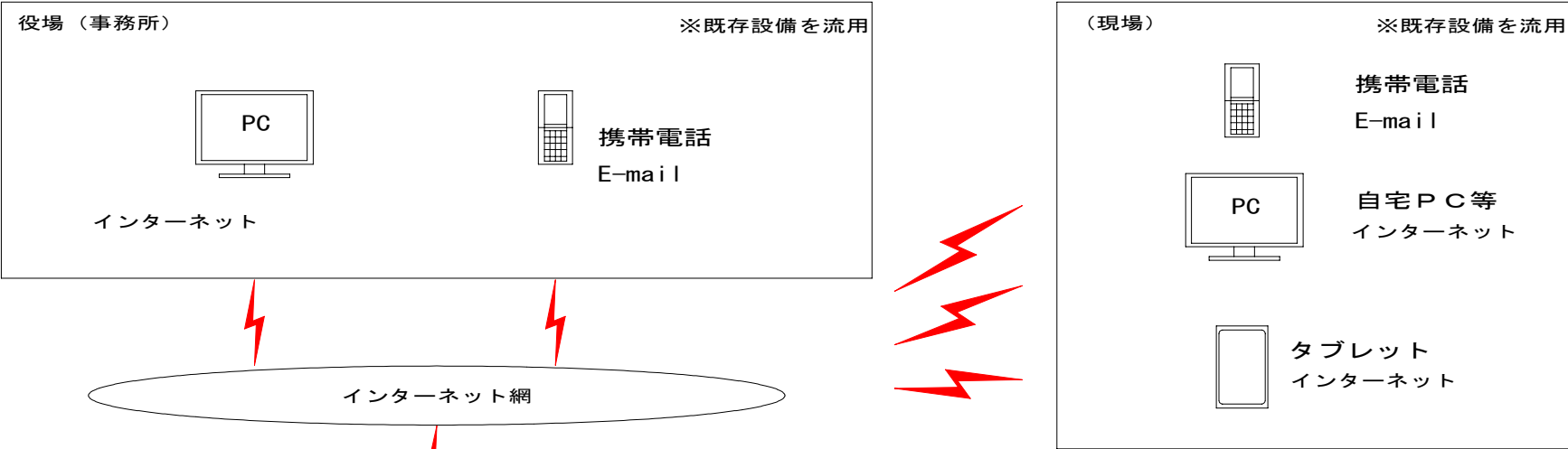
海陽町上水道区域図（宍喰地区）



凡 例	
行政区域	- - - - -
上水道	—
令和5年度までの施行済	◎
令和6年度施行分	◎
令和7年度施行予定	◎
令和8年度以降施行予定	◎

事業名	令和7年度 海陽町上水道施設整備計画（宍喰地区）	発注機関	海陽町
図 名	海陽町上水道区域図	Scale	1/10000
	（宍喰地区）	設計年月日	
図 番	NO. 1	海陽町役場上下水道課	
	Total 4		

海陽町広域監視システム系統図



令和5年度までの施行済

令和6年度施行分

令和7年度施行予定

令和7年度単独事業

令和8年度以降施行予定

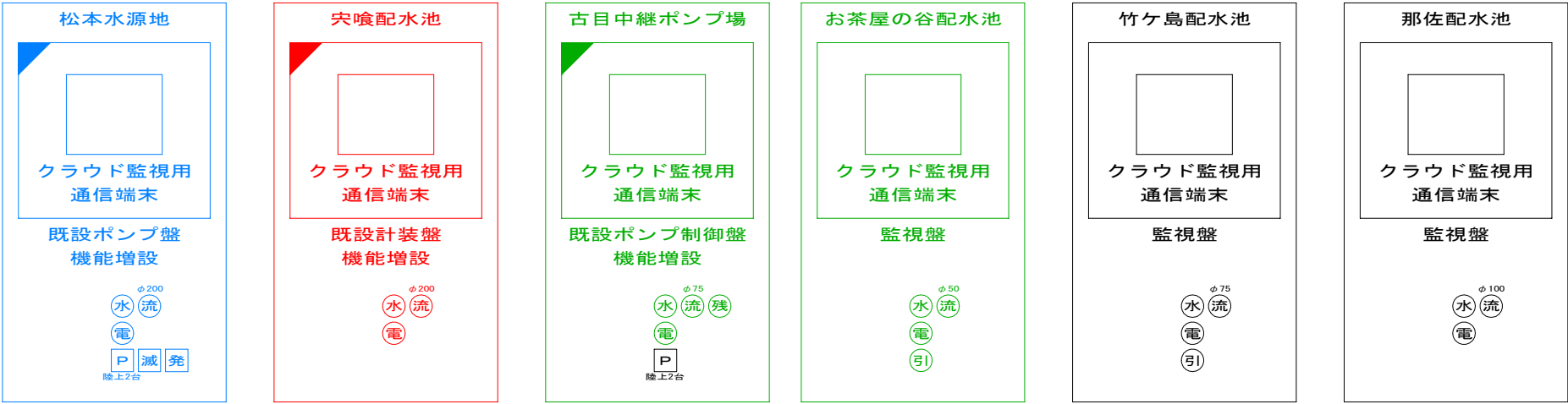
—— 黒色

—— 青色

—— 赤色

----- 赤色（点線）

—— 緑色



凡例

水	水位計	P	取水又は送水ポンプ
流	流量計	減	滅菌器
残	残留塩素系	発	発電機
電	電極		
引	電柱引込		

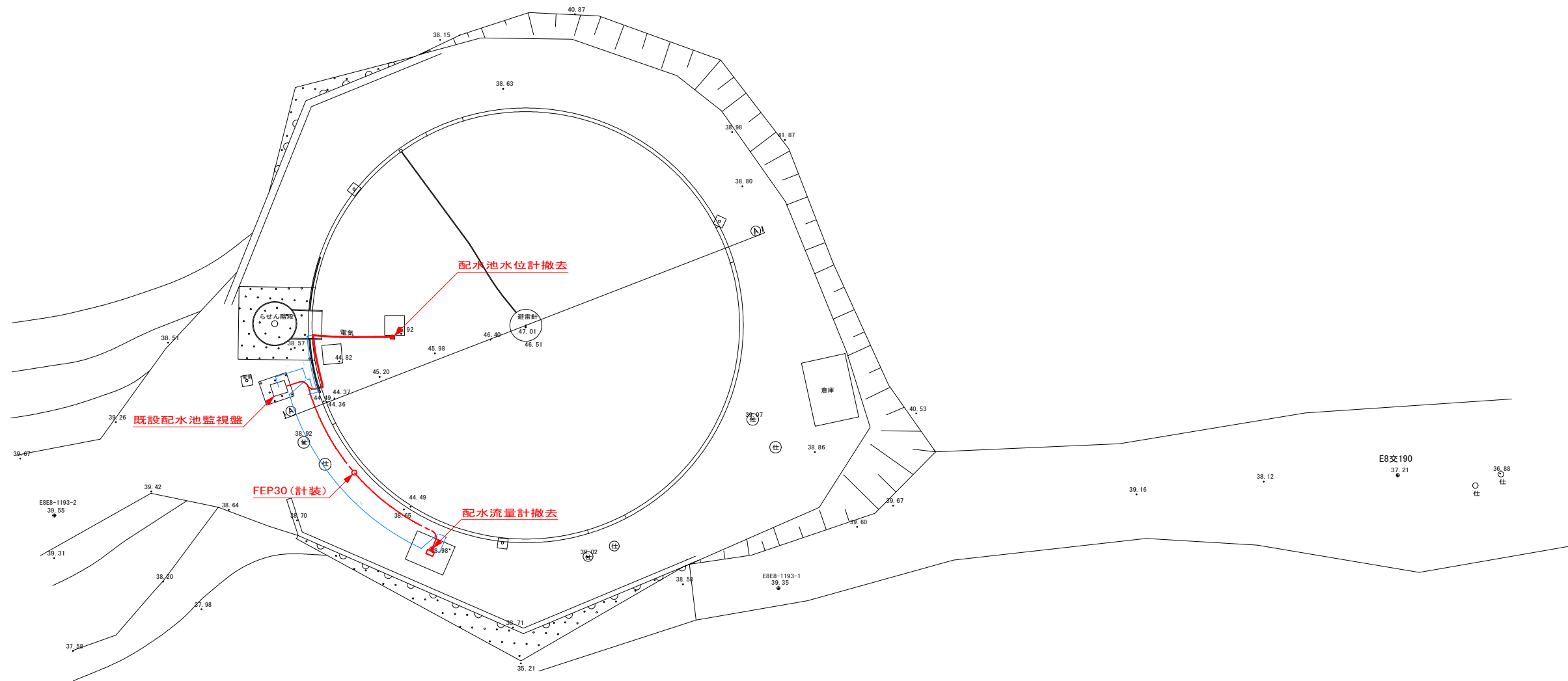
⚡ 3G又はLTE回線

■ 機能増設

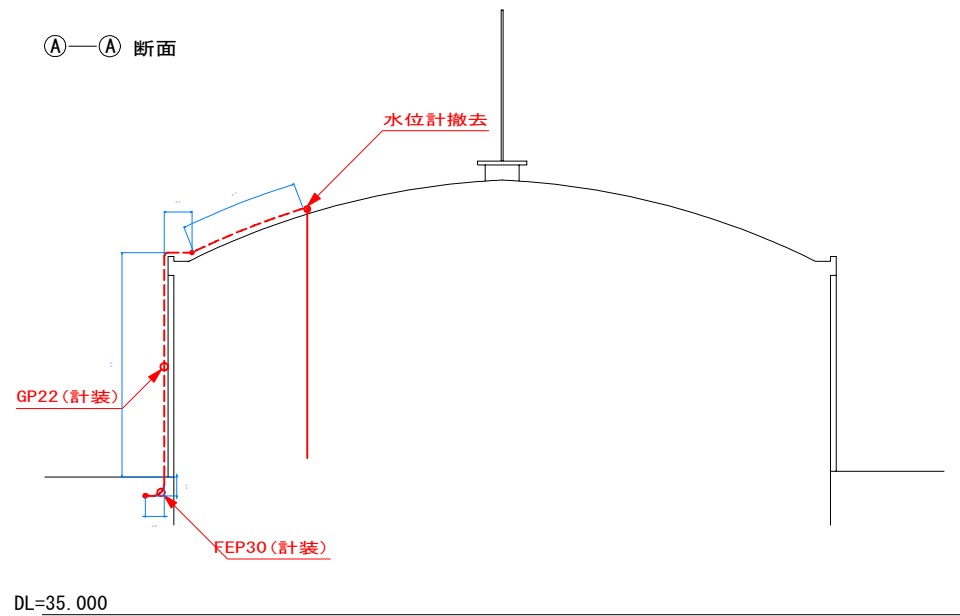
□ 既設機器

事業名	令和7年度 海陽町上下水道施設監視システム整備工事（決設計画）	発注機関	海陽町
図名	海陽町広域監視システム系統図	Scale	non
図番	NO. 2 Total 4	設計年月日	
海陽町役場上下水道課			

撤去平面図 S=1:100
 尖喰配水池



横断図 S=1:100



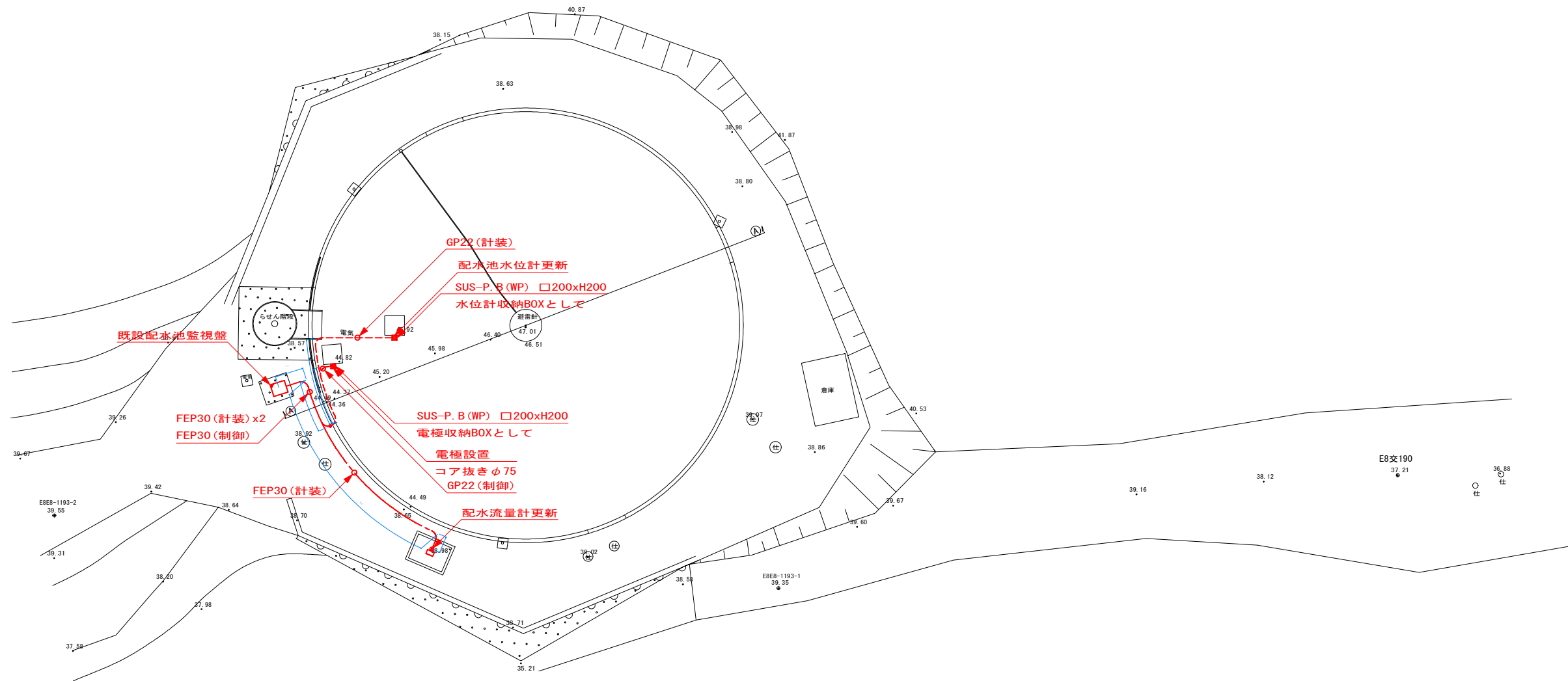
既設配水池監視盤

専用ケーブル (GP22) ⊗ 配水流量計

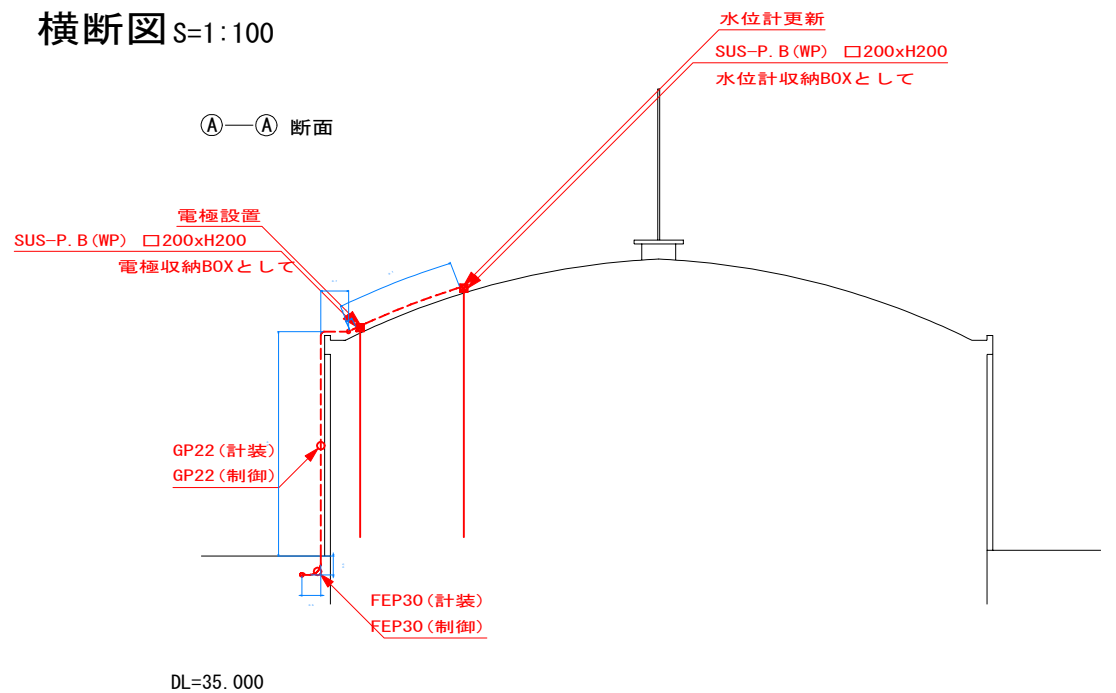
EM-CEES 1.25sq-2c (GP22) ⊗ 配水池水位計

事業名	令和年度 海陽町上下水道施設更新整備事業 (尖喰配水池)	発注機関	海陽町
図 名	撤去平面図	Scale	図示
	尖喰配水池	設計年月日	
図 番	NO. 3	海陽町役場上下水道課	
	Total 4		

平面図 S=1:100
 尖喰配水池



横断図 S=1:100



事業名	令和年度 海陽町上下水道施設更新事業 (尖喰配水池)	発注機関	海陽町
図名	設置平面図 尖喰配水池	Scale	図示
図番	NO. 4 Total 4	設計年月日	
海陽町役場上下水道課			